

# U.S. Indicators

## 米国 下振れも内容は悪くない(16年4月ISM製造業景気指数)

発表日：2016年5月2日（月）

～製造業は緩やかに拡大～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

### ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
15/09	50.0	49.8	51.4	50.2	48.5	49.9	41.5	38.0	46.5	50.5
15/10	49.4	50.8	52.5	47.7	46.5	49.7	42.5	39.0	47.5	47.0
15/11	48.4	49.0	49.8	50.8	43.0	49.6	43.0	35.5	47.5	49.0
15/12	48.0	48.8	49.9	48.0	43.5	49.8	41.0	33.5	51.0	45.5
16/01	48.2	51.5	50.2	45.9	43.5	50.0	43.0	33.5	47.0	51.0
16/02	49.5	51.5	52.8	48.5	45.0	49.7	48.5	38.5	46.5	49.0
16/03	51.8	58.3	55.3	48.1	47.0	50.2	51.0	51.5	52.0	49.5
16/04	50.8	55.8	54.2	49.2	45.5	49.1	50.5	59.0	52.5	50.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

15年4月のISM製造業景気指数（季節調整値）は、50.8と拡大縮小の分岐点である50を2カ月連続で上回ったものの、前月比1.0%ポイント低下し、市場予想を下回った（市場予想中央値51.4、当社予想51.2）。製造業部門が拡大ペースを鈍化しながらも、緩やかに拡大していることを示唆した。総合指数への構成項目別の寄与度をみると、雇用（前月比+0.22%p）が押し上げ寄与となった一方、新規受注（前月比▲0.50%p）、在庫（前月比▲0.30%p）、生産（前月比▲0.22%p）、入荷遅延（前月比▲0.22%p）が押し下げ寄与となり、総合指数は前月比1.0%ポイント低下した。ただし、新規受注、生産が低下したものの、ともに高い水準を維持したうえ、拡大した業種数が新規受注15（前月13）、生産15（前月12）と前月よりも増加した。また、在庫が低下したほか、縮小を示す低い水準にとどまった。さらに、4月は拡大した業種数が縮小した業種数を大幅に上回っており、製造業部門が広がりを持って拡大したことを示している。

これらを考慮すれば、総合指数の下振れが示すほど4月は悪い内容ではない。米国製造業の活動は、ドル高、原油価格下落、世界的な需要鈍化の影響を受け昨年9月から調整していたが、ここ数カ月のドルの下落や原油価格の上昇、在庫調整の進展等を背景に、持ち直していると判断される。特に、新規受注の改善は、持続性に不透明感が残る輸出受注の拡大よりも、安定的な拡大を続けている国内需要の寄与が大きく、今後外需が弱含

んでも、製造業活動は当面拡大を続けると予想される。

なお、全18業種で拡大した業種は、木材製品、印刷・関連サポート活動、紙製品、プラスチック・ゴム、一次金属、加工金属、化学製品、一般機械、コンピューター・電子機器、非鉄、食品・飲料・タバコの11業種（前月12業種）に減少したが、縮小した業種が、石油・石炭、輸送機器、その他製造業、家具・同関連の4業種（5業種）に減少した。アパレル、繊維、電気設備・部品は変わらずとなった。



(出所) ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。